

第34号

宇 障 連

福田富一 栃木県知事揮毫

- ・発行責任者・
会長 麦 倉 仁 巳
- ・編集・問合わせ先・
宇 都 宮 市 障 害 者
福 祉 会 連 合 会
☎320-0806
宇都宮市中央1-1-15
市総合福祉センター3F
- ・宇障連事務局・
TEL 637-7771
FAX 639-0663
- ・手話通訳専用・
TEL・FAX 636-1219
- ・印刷所・
藤崎印刷株式会社



年頭のご挨拶

社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会

会長 麦 倉 仁 巳

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

宇障連は、障害者による障害者のための福祉の向上を、目指して活動しておりますが、常日頃から会員はじめ関係者の皆様には、当会の各種事業にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は大型台風が襲来し関東各地に甚大な被害が発生し、栃木県障害者スポーツ大会2年連続中止や全国障害者スポーツ大会も中止になるなどの影響を受けました。

災害時の要支援も含め、常日頃から私たちが当事者も啓蒙活動等を通してそれぞれの立場で自発的に障害種別ごとの障壁を市民の皆さんに理解していただく必要があります。地域交流事業「ノーマライゼーションフェスティバル」や「街頭キャンペーン」「わく・わくマルシェ in オリオン」や「宇都宮市民福祉の祭典」など共生社会実現のための事業を実施し

てきました。

また、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2022年には栃木県で国体や第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されます。そのために大会実行委員会や強化指定選手の任命式を行うなど、障害者スポーツへの機運が高まっています。

障害者スポーツを通じて、障害のある人も、ない人も、みんなが一緒に安心して暮らせる宇都宮を、目指したいと思います。

新年を迎え、役員一同心新たに地域に密着した福祉向上のために努めてまいりますので、会員の皆様はじめ関係者の方々のなご一層のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

結びに、関係団体の益々のご発展と会員皆様のご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさついたします。

新年明けましておめでとうございます

本年も宜しくお願い申し上げます

宇都宮市肢体障害者福祉会
宇都宮市視覚障害者福祉協会
宇都宮市聴覚障害者協会
宇都宮市肢体不自由児者父母の会
宇都宮市障害者友会
河内地区身体障がい者福祉会

使いやすい
タブレット端末を活用した
手話通訳問い合わせ
対応サービス

宇都宮市では、ご自宅のパソコンなどのテレビ電話機能を使って、手話で市の業務について問い合わせができるサービスを昨年2月から実施しています。

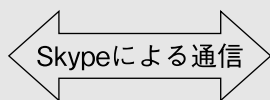
ご自身のパソコンやスマートフォンに登録したテレビ電話アプリ (Skype) を使って (ダウンロードや通信料は有料) 障がい福祉課内に配置したタブレットに問い合わせいただき、市の通訳者が手話でその問い合わせに対応するものです。

▽対象者 市内在住の聴覚に障がいのある方
▽利用日時 月・金、午前8時30分から午後5時15分まで (祝休日、年末年始を除く)。

詳しくは、市障がい福祉課企画グループ
FAX 636-10398へ。



〈自宅・外出先等〉



〈市役所・手話通訳者〉

表彰おめでとうございます

～令和元年度表彰者～

▼第25回栃木県民福祉のつどい

宇都宮市文化会館（8月29日）

▽栃木県知事表彰

自立更生

松本 敬志（視 覚）
大島 昭平（聴 覚）

▽栃身協会長表彰

自立更生

石崎 勤（視 覚）
吉澤 昌三（聴 覚）

▼第12回宇都宮市民福祉の祭典

宇都宮市役所（11月23日）

▽宇都宮市長表彰

自立更生

梅園 裕之（肢 体）
山本 モト（河 内）

支援功労

▽宇障連会長表彰

自立更生

高柳 昭子（視 覚）
曾根 鐵也（河 内）

支援功労

杉山 晃子（肢 体）
増渕 陽子（肢 体）
佐藤 知代（視 覚）
土屋 勝子（河 内）



野外交流会

～わたらせ渓谷鉄道～

7月6日（土）、第39回野外交流会（旧野外訓練）が行われました。

会員やガイド、ボランティアなど総勢104名がバス3台に乗りし、群馬県の「わたらせ渓谷鉄道・大間々（おおまま）駅」に向かい、トロツコ列車に乗りしました。神戸（ごうど）駅までの約40分の乗車でしたが、皆さん、車窓に広がる新緑や渓谷美、爽やかな空気に癒された様子でした。神戸駅で降車した後は、バスで「国民宿舎サンレイク草木」で旬な地元素材を使った昼食を取りました。帰りには、多くの方が、売店地元の名産品を買い求めていました。当日は、降り続いていた雨も上がり、暑くも寒くもなく、絶好の交流日和になりました。



歳末たすけあい配分事業 ハッピーフェスティバル

12月7日（土）、恒例の「ハッピーフェスティバル」を、市総合福祉センターで開催しました。毎年12月に開催されるこのイベントは、歳末たすけあい募金の配分を受け、宇障連会員相互の親睦と交流の輪を広げるために開催しています。

まず、オープニングセレモニーが行われ、来賓挨拶の後、宇障連に貢献いただいた方々に感謝状が贈呈されました。午前の部の初めは平家琵琶奏者の萩原郁乃（おぎわらいくの）さんによる弾き語りが行われました。琵琶独特の音色と語りに参加者は魅



了され、会場は静寂に包まれました。続いて江戸時代に起こったといわれている古典遊戯「投扇興（とうせんきょう）」の実演と体験が行われました。日本投扇興連盟宇都宮支部蓮生連の会員から、競技ルールの説明と実演を披露していただいた後、体験会を行いました。挑戦した参加者は、真剣な表情で、台の上に置かれた「蝶」という的を狙って、扇子を投げていました。扇子が的を落とし、その配置で点数が出るたびに、拍手や歓声が上がりました。昼食の後は、恒例のビンゴ大会で盛り上がりました。

▽投扇興の体験



△平家琵琶の弾き語り



地域交流事業

ノーマライゼーションフェスティバル11th

「Let's play パラスポーツ」障害者スポーツの体験」をテーマとして、宇都宮市サン・アビリティーズで開催しました。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック、2022年には栃木県で「いちご一会とちぎ国体・大会」が開催され、障害者スポーツへの関心が高まっている時機であることから、障害者スポーツの体験や交流を通して、障害や障害者についての理解を深めていただくことを目的に開催しました。



種目は、パラリンピックの競技にもなっている「ボッチャ」と「車いすバスケットボール」のほか、「フライングディスク」「ダーツ」「サウンドテニス」「ビームライフル」の6つ。

当日は、多くの参加者が、各競技にチャレンジ。良いプレーや高得点が出ると、拍手や歓声がおきていました。

また、施設等製品の販売や盲導犬のパネル展示なども行い、約200

人の方にご来場いただきました。運営にご協力いただいた各競技の指導者や関係者の皆様、ボランティアとして参加していただいた地元・横川中学校の生徒さん、ありがとうございました。



宇障連ガイドヘルパー

宇都宮市手話通訳者

合同研修会

10月15日（火）、総合福祉センターで、宇障連のガイドヘルパーと宇都宮市の登録手話通訳者との合同による研修会を行いました。



この研修会は栃木県介護福祉士会が行う「キャリア形成訪問指導事業」に応募して実現しました。

講師は介護福祉士の谷口美智氏（沼尾病院 地域医療連携室室長）にお出でいただきました。

ガイドヘルパーさんも通訳者さんも支援に携わる立場から、社会的に増加している高齢化に伴う基礎知識として「認知症の理解（基礎編）」をテーマで開催し、20人が参加しました。

講義は、「認知症の症状」にはじまり「ケアに影響するコミュニケーション」や「認知症介護の実態や介護の技術」などの内容で、参加したみなさんは真剣な表情で受講していました。

◎サン・アビリティーズの体育館が、空調設置工事のため、令和2年1月～4月上旬（予定）、利用停止になります。詳しくは、サン・アビリティーズ ☎656-11458へ。

チャット機能で現在の状況を詳しく伝えられます。



1月1日から開始 「Net119 緊急通報システム」

▽システムの概要
聴覚や言語機能に障がいのある方などが、「Net119 緊急通報システム」を事前に登録しておき、携帯電話やスマートフォン、GPS機能を利用して、文字による緊急通報が行えるもの。

Q & A

よくある質問

Q1 対象者は

①市内に住んでいる聴覚・言語機能に障害がある人で、身体障がい者手帳の交付を受けている方
②音声による119番通報が困難であると認められる方

Q2 利用手続きは

身体障がい者手帳を持参し、「Net119 緊急通報システムのご案内」を一読の上、登録申請書を消防局へ提出する

Q3 利用できる機種は

GPS機能が付いている機種で、各携帯電話会社とのインターネットサービスや、電子メールサービスに

加入していること

Q4 費用は

システムの利用は無料。ただし、携帯電話やスマートフォン等の通信料は利用者負担

Q5 受付時間・場所は

午前8時30分から午後7時30分まで（土日・祝日でも受付）。市消防局5階（大曾2-2-21）へ。
なお、2月15日（土）午後1時30分から4時まで、東消防署3階（中今泉5-37-16）で登録説明会を開きます。

詳しくは、市消防局 通信指令課

FAX (625) 3001

TEL (625) 5599

メール us3040001@city.

utsunomiya.tochigi.jp



今後の行事予定

《2月》

8日（土）宇障連ボウリング大会

29日（土）視覚障害者向け福祉機器展

《3月》

7日（土）理事会

14日（土）評議員会

※予定が変更になる場合は、会員の皆さんにご連絡いたします。

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳 点訳グループ「虹」の皆さん
音訳 デイジー全文訳センター

「アクセス」の皆さん

ご協力ありがとうございました。

③

シッティング バレーボール

障害者 スポーツ

シッティング（座った姿勢）で行うバレーボールで、健常者も脚に障害のある人も一緒に行えるスポーツです。1980年にパラリンピック競技種目に採用されました。

コートやネットの高さは違いますが、ルールは、インドア6人制バレーボールと共通点があります。競技者は6名。1セット25点先取のラリーポイント制で5セットマッチ。プレー中にでん部（おしり）を床から離すと反則になります（レシーブ時は短時間であれば床から離してOK）。移動する際もでん部を床につけたまま動かなければなりません、これが意外と難しく、選手たちは器用に手を使って素早く移動します。手を使った“フットワーク”も必見です。

日本国内では、1992年6月に競技がスタートし、毎年12月には日本選手権が行われています。



出典：JPSA